
8. 親子でバリアフリーのまちづくりを考える

～富樫地区デイサービスセンターとの連携～

「身近な環境と子どもたち」を考える会
(石川県金沢市)

I. 富樫地区での活動に至るまで...

私たち「身近な環境と子どもたち」を考える会の活動のテーマの一つとして、福祉とまちづくりを関連づけようという声があがったのは、平成9年度最初の活動内容の打ち合わせの時でした。

金沢市の富樫地区は中心街の少しはずれにある新興住宅地であり、高齢化が急速に進んでいます。そのような中、地元の方々の熱心な草の根の活動が市役所を動かし、デイサービスセンターが整備されることになったということでした。このデイサービスセンターの整備と併せて、地区全体のバリアフリー化を親子で考えることが、将来にわたって住み続けることができるコミュニティ形成の糧になるのではないかと、また、当地区での活動が類似する地区でのモデルになるのではないかと考えたのです。

このため、平成9年度は、デイサービスセンター設立の中心人物や関連する団体などとの協力関係づくりの期間と位置づけ、それらの方々と数回にわたり打ち合わせを続けていました。しかし、私たちの活動の意義を理解いただき、いろいろな面でサポートをいただいていた中心人物が平成9年12月に急逝され、その後、一時私たちの富樫地区での活動も頓挫していました。この時期は、当会にとっても一番つらい「時」であり、会自体の存続が不確かな状態でした。

(財)ハウジングアンドコミュニティ財団より、当会の活動に対して平成10年度の活動助成が決定したとの連絡を受けたのは、ちょうどそのような時期だったのです。さっそくミーティングを開き、平成10年度の活動スケジュールの確認、富樫地区のキーパーソンへのコンタクトなど、私たちの活動が息を吹き返しました。

II. 富樫地区のバリアフリーまちづくりを親子で考える...

平成10年度の活動は、大きくは2つに分かれます。一つは、親子参加のバリアフリー勉強会やワークショップの開催、もう一つは、その結果をパンフレットなどにしっかりとまとめ地元配布する、ということです。そのことが、富樫地区のバリアフリーまちづくりについて、地元のみなさんが考えるきっかけになることを期待しています。

以下、活動の概要をご紹介します。

～第1回探検隊 バリアフリー室内探検(平成10年8月22日)～

探検隊の第一弾として、バリアフリー室内探検を行いました。富樫公民館ホールにつくられたコース上を、2人1組となって、車イスに乗ったり目かくしをしたり、高齢者体験キットを着けたりして歩きました。わずかな段差やスロープでも、大きなバリア(障壁)となることに、参加者のみ

●当日のプログラム●

14:00～ 寸劇

「バリアフリーって何？」

14:50～ バリアフリー室内体験

15:40～ 感想を話し合おう

なさんは驚いていた様子でした。

この室内探検の開催にあたっては、いろんな工夫をしました。たとえば、ちょっとした傾斜でも車イスではどれだけ大変なのかということを知ってもらうために、手作りのスロープを作ったりしました（乗用車で持ち運びを可能とするため、折り畳み式のスロープにしたりなど、かなりの汗と知恵による傑作です）。



車イスの疑似体験

～第2回探検隊 心のバリアフリー（平成10年9月19日）～

第2回の親子探検隊では、金沢市内に本拠地を置く福祉活動グループ「ハートサイドネットワーク」の中村裕さん、「ボランティア研究所」の須戸哲さんから、『心のバリアフリー』という題でお話をしてもらいました。

中村さんは8年前に植木を切る仕事の途中で、木から落ちて車イスの生活になりました。体が不自由で困っている人たちを応援する会として、「ハートサイドネットワーク」をつくったということです。

バリアフリーは特別なことではなくて、友達や家族の人と仲良くしたり、やさしくしたりすることと同じだということであり、それをみんなに分かってもらって、行動してもらいたいというお話でした。

参加した子どもたちにとっては、ちょっと難しいお話だったかもしれませんが、机上の空論ではなく、実体験からの話であり、子どもたちの心にしっかりと訴えかけるものがあったようです。

●当日のプログラム●

- 14:00～ 第一回のおさらい
「バリアフリーって何？」
- 14:10～ おはなし
「心のバリアフリー」
- 15:00～ 感想を話し合おう

～第3回探検隊 富樫地区のバリアフリー探検（平成10年10月25日）～

第3回の親子探検隊では、富樫地区のバリアフリー点検（フィールドサーベイ）を行いました。富樫地区がお年寄りや車イスを使う人などにとってどんなまちなのか、グループに分かれてチェックしました。気づいた箇所などを地図上に記録し、写真もとりました。

その結果をグループ別に大きなポスターにまとめ、最後に発表と意見交換を行いました。いろいろな意見が沢山でました。「一人一人が注意して、違法駐車をしないなどマナーをよくしないとダメだよ」「病院やお店など、みんながよく利用する建物の出入り口の段差は無くすようにしないと」「建物だけじゃないよ。そこに行くまでの歩道の段差をなくしたり、信号機の青の時間を長くしたりとか、体に障害のある人やお年寄りが、まちの中を自由に動けるように改善していかなくちゃ」などなど...

●当日のプログラム●

- 9:50～ まちを歩きながらバリアフリー点検（富樫デイサービスセンターの見学も行う）
- 13:00～ バリアフリー点検のまとめ
- 14:30～ 発表会

最後には、「一番大切なのは、みんなが思いやりをもって生活すること」という点で、満

場一致となりました。



バリアフリー探検



グループ別に発表会

III. 今後の展開に向けて...

上記の結果をもとに、バリアフリー探検のパンフレット（A-4で4ページ、フルカラー）を1000部印刷しました。このパンフレットを地元の方々に配布し、富樫地区の今後のバリアフリーまちづくりの機運を盛り上げていくためにも、かなり質の高いパンフレットにしようということで、イラストやデザイン校正をプロにお願いしました。その方たちも私たちの会の主旨に賛同いただき、破格の超安値で引き受けてくださいました。

今回の活動では、富樫地区のメインストリートがバリアフリー探検の対象であったため、平成11年はメインストリートの裏側の住宅地なども対象に、親子での探検を展開する計画です。

当会の活動を通じていつも感じていることが、「参加者の募集と確保」の難しさです。今回の活動の反省も踏まえ、平成11年はさらに積極的に地元の方々に働きかけていきたいと考えています。

最後になりますが、今回の活動を進めるに当たって、富樫小学校、富樫児童館、富樫公民館の関係者の方々、ハートサイドネットワークの中村さん、ボランティア研究所の須戸さん、さらには金沢学院短期大学の学生のみなさんなど、多くの人々のご協力をいただきました。ここに心より感謝の意を表する次第であります。



パンフレット